



クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔医療安全管理部門〕

指標名

RRS (Rapid Response System) の積極的活用の推進

※RRS とは、急変前の兆候を捉え、急変を未然に防止するためのシステム

目標・ゴール

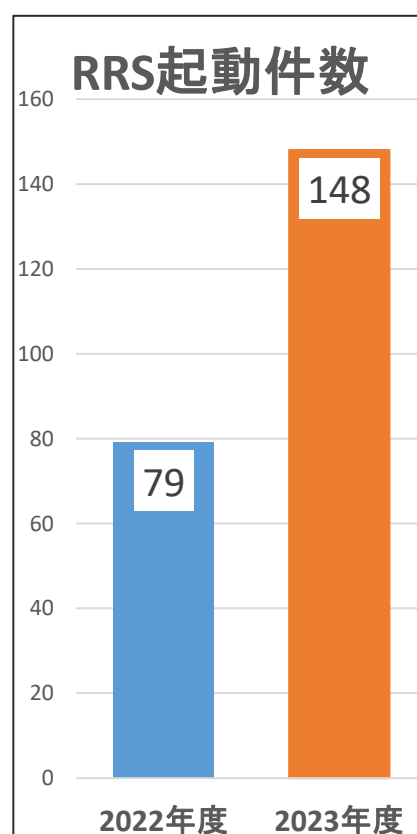
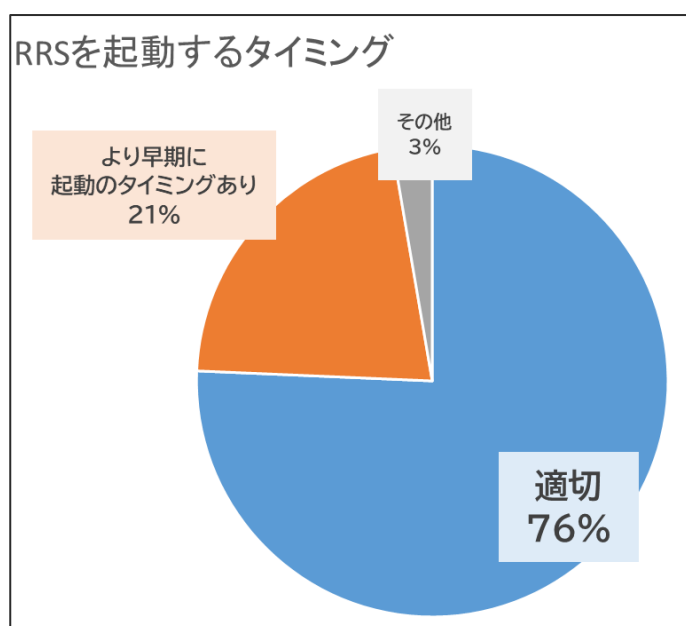
RRS 起動基準に該当したタイミングで RRS が起動できる

目標・ゴール達成による効果

60%

目標・ゴールに対する成果の状況

2023 年度、RRS 起動症例において起動タイミングが適切な症例は 76%であった。



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☒S : 大幅に目標を上回った
- ☐A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☐A : 目標を達成
- ☐B⁺ : 目標を少し下回った
- ☐B : 目標を下回った
- ☐C : 目標を大幅に下回った
- ☐ー : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

RRS 起動症例 148 件中、起動タイミングが適切な症例は 76% (112 件) であり、目標は達成された。起動のタイミングに課題があった症例 24% (36 件) のうち、上半期では 2 件がコードブルー起動を要する状態であった。医療安全管理部門の活動として RRS 起動症例毎の検証およびフィードバックを行った結果、起動のタイミングに課題があった症例は上期:25 件から下期:11 件に減少した。また、RRS 起動数は、前年度の 1.9 倍であり活用が定着してきていると考える。一方、入院患者のコードブルー起動症例(2023 年度)のうち、6-8 時間前に RRS 起動基準に該当している症例が 11%あった。このため、RRS が有効に機能するよう、コードブルー起動症例に対しても症例毎の検証を行い、フィードバックすることが必要と考える。

次年度は目標を継続とし、起動タイミングの評価対象をコードブルー起動症例も含め、目標値を「80%」に設定し活動していく。